

「おでかけまほろん」

10月12日（木）に、福島県文化財センター白河館「まほろん」の学芸員の方を外部講師にお招きして、「おでかけまほろん」を実施しました。

くぼた校周辺の遺跡について



身近な場所の遺跡の話では、縄文時代はくぼた校が田んぼであったことや今と海的位置が違うこと、貝塚等の遺跡群があること等を、地図を使って説明していただきました。生徒からは、「そうなんだ!」と驚きの声が聞かれました。

石器や土器の観察



何に使われた土器や石器なのかという説明を聞きながら、実際に出土したものに触って観察しました。弓矢や木を切る道具を持ったり、縄文土器の模様付けの体験をしたりしました。昔の人の暮らしについて関心をもつ様子が見られました。

勾玉作り



最後に、勾玉作りを行い、四角形だった石を丸みの帯びた勾玉にすることができました。バランスよく滑らかな形にすることは難しかったようですが、生徒達は思い思いの勾玉を完成させて達成感を感じることができました。